

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100112
法人名	社会福祉法人ともの家
事業所名	ともの家 この道
所在地	松山市溝辺町甲93-1
自己評価作成日	平成26年12月24日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年1月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホーム全体が木の温もりと優しさに包まれており、自然の優しさに触れながら生活できる環境にある。皆が集うリビングには、暖炉があり、対面式のキッチンを取り入れ、常に入居者と職員、いわゆる住民の談笑の場となっている。プライバシーを尊重し、日々穏やかに、安心した生活を送っている。法人全体の目標として「微笑みを絶やさず親切に」を掲げスタッフ一同精進しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

玄関には、利用者と職員で買ってきた季節の花が生けられていた。事業所は建物1階に位置し、居間は薪ストーブであたたかい造りになっている。南側のガラス戸から自然の光が差し込み、利用者は2つ並んだソファに思い思いに座って、日だまりの中、おしゃべりを楽しんでいる様子が見られた。リクライニング車椅子を使用している方を、午前中は日向ぼっこができるよう、南側にお連れしていた。壁に利用者の書初めが飾っており、利用者が「昔、習ったことができました」と教えてくださった。又、利用者が横書きに墨痕鮮やかに書いた、法人の目標「微笑みを絶やさず親切に」が掲示されていた。調査訪問時、テレビは点けられることなく、BGMが静かに流れていた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

サービス向上への3ステップ

事業所名

ともの家 この道

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

吉田 真紀子

評価完了日

平成26年 12月 24日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共 有して実践につなげている	(自己評価) 毎朝の申し送り時や毎月の職員会議等で理念の共有をし、 それに基づき、年間、月間の目標をたて実践につなげている	
			(外部評価) 法人の理念を毎朝のミーティング時に復唱し、又、管理者は 「尊厳とは」「サービスとは」等、職員に具体的に問いかけ確 認しながら、理念の共有と実践に向けて日々けん引されて いる。事業所では、法人理念に基づき26年度の重点目標を 「一人ひとりに合わせたケアを行う・職員の質を高める・ホー ム内外の環境整備を行う」と作成して、取り組みをすすめて おられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 法人開催のロビー展とバザーを定期的に行い、地域の方と の交流を計っている。また、散歩や買い物他に、理髪店 の利用や町内の行事に参加し、湯山小、中学生の来訪を受 けたり日常的に地域と交流している。	
			(外部評価) 年4回開催する法人主催のロビー展には、利用者やご家 族、職員の作品を出展したり、バザー等を催して地域の方 達との交流の機会となっている。地域の小・中学生は、体験 学習の一環で来てくれており、自分達で考えたゲーム等で 利用者を喜ばせてくれている。又、ピアノやオカリナ演奏、 紙芝居等、定期的にボランティアの訪問があり、利用者も一 緒に歌う等、心待ちにされている。昨年11月に利用者が行 方不明になったことがあり、管理者は地区の方が集まる公民 館の会合に出席して、事業所の実情や行方不明等の緊急 事態時の協力をお願いされた。地区の方と対策について話 し合い、そのような事態が発生した際には、町内放送で協力を 呼び掛けてくれることになったようだ。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で法人の看護師が講師となり認知症サポ ーター養成講座を開催しオレンジリングを配布した。利用者が 行方不明や緊急事態の時などの集会所の放送使用など協 力をお願いした	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 今年度の事業所の取り組みを報告し、協力を要請した。参加者との意見交換をし、そこで出た意見を職員会議で取り上げ、再度確認しサービスの向上にいかすように努めている</p> <p>(外部評価) 併設事業所と合同で行っている会議には、地域の民生委員や広報委員、公民館長、利用者、ご家族等が出席しており、敬老会や避難訓練と併せて開催することもある。会議では事業所の活動を報告し、看取りの取り組みや外部評価等についても発表して、情報や意見交換がなされている。駐在所の方が出席した際には、地域の問題点や行方不明者の対応等について話してもらい、アドバイスも得られた。次会は、歯科医を招き、口腔ケアを議題として行う予定となっている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議に市の担当者をはじめ、地域のお巡りさんにも出席してもらい事業所の活動報告や実情を知らせ協力関係を築いている</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時には、市の担当者や地域包括支援センターの方に、議案に沿って意見や助言を仰いでいる。会議と法人主催の敬老会を併せて行った際には、市の担当者から「家族の参加も多く、出し物にも工夫されていて、良い催し物だと思いました」との感想があった。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 法人内の研修は基より職員全員が正しく理解しており拘束のないケアを実践している</p> <p>(外部評価) 介護理念に「介護現場で使う言葉は心地よい言葉だけ」「認知症は言葉遣いから始まる」と掲げており、言葉の拘束にも留意してケアに取り組まれている。日中は、玄関及び裏口等に施錠はしていない。利用者が外に出ようとして落ち着かない様子が見られたら、職員は利用者の気持ちに寄り添うよう、心がけて支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			法人内の研修で学習し職員間でも常に話し合い相談しあえるようにしている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			法人内研修を行い学習する機会を設けた。他に外部研修の参加学習も積極的に奨励している	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			利用相談があった時は、施設見学や体験入所などを勧め、時間をかけて契約に関する説明などを行い慎重に対応している	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			利用者やご家族の意見や要望はそのつどお聞きし、職員間で話し合い運営に反映させるよう努めている	
			(外部評価)	
			事業所では、ご家族をケアパートナーとして位置付け、意見や要望の傾聴に取り組んでいる。ご家族には、毎月、利用者の暮らしぶり等を担当職員が手書きして送付している。又、法人で発行する「ともの家だより」やホームページでも、事業所の取り組みや利用者の日々の様子等を写真入りで発信している。ご家族の中には、送り迎えや面会時には洗濯物を取り入れる等、率先して手助けしてくださる方もある。玄関には、ご家族にも分かりやすいように職員の写真と名前を、当日の勤務状態も分かるよう掲示されていた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月開いている内部研修や職員会議等で、職員からでた意見や提案を積極的に取り上げ運営に反映させている。例えば今年度は、理念に基づいたケアを実践するために毎朝のミーティング時に意識付けとして理念の確認をするようにした	
			(外部評価) 法人は「温かい心を土台に多くの深い知識と確かな技術を備えた職員」の育成に取り組み、内・外の職員研修や資格取得に力を入れている。又、毎年、職員がテーマを決めて、実践研究発表を行っており、事業所では今年度は「拘縮緩和への取り組み」について発表された。その際には、各関係機関等にも案内しており、外部の方にも聞いてもらうことが、職員の自信や意欲につながっているようだ。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は全職員に業務に関する自己評価を実施した後、個別面談を行った。資格取得者に対しては資格手当がつき、法人に貢献した者には、それなりの処遇があり、各自が向上心を持って働ける職場である	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人研修や毎月の内部研修の実施、外部研修を奨励援助し、個人の資格取得も応援している。年度初めに、事業所ごとに取り組む課題を決め、実践研究発表を行い、職員のスキルアップにつなげている。新人研修マニュアルを作成し、職員育成に力を入れている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 法人内の研修会に同業者へ案内し参加していただいた。地域のケア会議や県外の施設へ研修に行きサービスの質の向上に繋げている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居と同時に全職員、ご家族でケアカンファレンスを行いご本人の声をできるだけ詳しく傾聴し、安心を確保するための関係づくりに努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアカンファレンス以外でも、こまめに連絡を取り信頼関係が築けるよう努めている</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人とご家族の思いを受け止め、まず必要としている支援を見極め対応している</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は、日常の生活が学習の場となっている。言葉、表情、行動など触れ合いの中から学び支えられていることを感謝している</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>当法人は、ご家族をケアパートナーと位置付けている。双方からご本人を支えていく関係を築いている</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の話しかけの中に、馴染みの名前や地名を意識して取り入れ、友人や知人の訪問も歓迎し、美容室は、行きつけを利用している</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ご家族等の来訪時には、ゆっくりと水入らずで話ができるよう居室に案内している。ご家族が利用者と一緒に出かけの際、管理者は「何かあれば、遠慮なくすぐに事業所に連絡して、戻ってきて下さい」と送り出し、服薬等についても丁寧に説明して、ご家族の不安等を軽減できるよう配慮されている。馴染みの美容室には、職員や美容室の方が送り迎えして、継続して利用できるよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 共有の場所にソファや暖炉があり、それぞれが集えるようにしている。気の合う仲間を自室に招いたりされている。利用者同士の会話にも職員が間に入り混乱が無いよう支援している	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用者が亡くなった後も、野菜やおはぎなどを差し入れして下さる。ご家族との連絡は、途絶えないよう行事の案内をしたり、命日には、必ず電話かご自宅に訪問させていただいている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人、またはご家族にお話を聞き、その思いや願いを把握するように努めている。集めた情報は、職員間で共有しケアプラン立案にいかしている。ケアプラン更新時には、アセスメントの見直しをしている	
			(外部評価) 利用者のお若い頃のことや以前の暮らし振り、又、日々の生活の中で知り得た情報を蓄積できるよう、アセスメントシートには日付を明記し色分けして書き加え、ケアに反映できるよう努めておられる。「介護度が重度となり、思いや意向の表出が困難な利用者にとって、外出やトイレでの排泄がご本人が本当に望んでいることなのか」「介護者の自己満足に過ぎないのではないか」と、職員は日々模索しつつも、ご家族からの要望も踏まえ、職員間で話し合いながら支援されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの背景をできるだけ詳しく知り、ケアプラン見直し時に、これまでの経過を把握し、新しく得た情報を加えるようにしている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりに合わせた暮らしをしていただいている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 日々のケアの中での気づきなどを、職員間で出し合いご家族と相談しながら、何が必要かということを考えケアプランを作成している。ケアプラン更新時には、ご家族の要望をふまえスタッフ全員の意見を必ず聞くようにしている</p> <p>(外部評価) 介護計画は、ご家族等の意見をうかがい、職員全員の「ケアプラン案」をもとに作成されている。囲碁や歌、食器拭きや薪運び等、利用者一人ひとりの楽しみごとや役割等を計画に組み入れ、生活の自信や活力につながるような計画作成に努めている。昨年12月から、日々の個別記録には、これまで以上に介護計画に沿った支援内容を記入するよう取り組まれている。介護計画の見直しは、介護度2・3の利用者は3ヶ月ごと、介護度4・5の方は6ヶ月ごとに行われている。</p>	<p>1月の月間目標は、「ケアプランを実施し、記録に残し、線を引く」と決められている。一連の取り組みを通じて、さらなるケアの質向上を目指していかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 関わった職員が個人記録に記入し、ケアプラン実践箇所は、蛍光ペンで印をつけ、職員間で情報を共有しプランの見直しに活かしている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 当法人の四事業所を行き来し交流をはかっている。重度やターミナルが近い方には、24時間対応の医療機関への引き継ぎや、その時に合わせたサービスを提供している</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 年2回の防災訓練時に消防署員の協力を得た。地域の防災士にも来ていただいた。地域の商店利用などで繋がりが持てるように支援している。毎月1回、ピアノ教室を開いている近所の方が、ピアノの演奏に来てくださる</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 3週間毎に主治医による往診があり、気になる事柄を往診ノートに書き込みアドバイスをいただいたり、必要に応じて血液検査や健康相談をしていただいている。重度やターミナルケアの方には、訪問診療との連携も取れている	
			(外部評価) 利用者個々のかかりつけ医の往診が定期的にある。専門医への受診には、職員及びご家族が同行するようになっている。医師と連携を図りながら減薬に取り組み、精神的に落ち着いた生活を取り戻した利用者もいる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者の変化や気になること等は、看護職員にいつでも相談でき、その時の状態に合わせて対応できるようにしている。往診時には、往診ノートに気になることを記入し支援している	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) ご家族と共に病院関係者との情報交換や相談に努めている	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ご家族の希望をお聞きし、管理者と看護職らが中心となり、話し合いを持ち、職員全員で方針を共有している。	
			(外部評価) 前回の外部評価後、3名の方の看取りを支援された。職員は、「利用者の状態をきちんと見ること」「声かけすること」「異変があれば連絡し記録に残すこと」「苦痛を除き清潔を保つこと」等を心がけながら、「何よりも利用者のご家族が過ごす時間を大切にしたい支援」に努められた。お一人の方は、ご本人ご家族の希望で自宅に帰られ、職員が毎日訪問して、清拭や更衣等をサポートされた。住み慣れた家で、ご家族や近所の方に囲まれて過ごされたようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			主治医及び看護師による内部研修があり、職員は実践力を身につけている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			防災訓練を定期的に行い、地域の方に避難の場所の確保など協力していただいている。地区の防災士のアドバイスもいただいた。また、当法人が避難場所にもなる	
			(外部評価)	
			年2回、消防署の指導のもと避難訓練を実施しており、地域の民生委員等も参加された。1回は地震想定で行われた。運営推進会議時には、地域の方から、洪水時の避難場所についてアドバイスがあったり、事業所から、避難場所として事業所を提供できる旨を伝える等、地域との協力体制を図っている。地域の自主防災訓練には、職員と数名の利用者が参加している。食糧や水等の備蓄は、定期的に点検し交換している。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			職員は法人の接遇態度、援助のチェックポイントに基づき一人ひとりの思いを大切に、サービスの提供を行っている。介助の後には、必ず感謝の言葉を伝えている。	
			(外部評価)	
			職員は「声のトーンは低く、視線は下から、足音は立てないよう」に心がけて支援されている。調査訪問時、職員は、利用者に寄り添ってソファーに腰を掛けて談笑し、耳が聞こえにくい方には耳元で話しかける等、共に穏やかにゆったりと過ごしている様子がみられた。又、歌の好きな利用者が歌い出すと職員も一緒に口ずさむような場面があった。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			天気がいい日には戸外へ出たり、思い思いに過ごして頂いている。衣服や飲食物なども、そのつど希望を伺い、ご本人の思いを尊重している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者ご自身が、散歩に行かれたり、お部屋で休まれたり、と、臨機応変にその方に合わせた支援をしている。入浴に関しても、夜間入浴も行っている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) ご自分でされる方には言葉掛けや見守りをし、そうでない方にも外出やイベント時などに、その方に合ったおしゃれをしていただいている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に台所に立ち、野菜切り、盛り付け、片付けなどしていただいている。できない方には、献立の食材を手を持っていただいたり、匂いをかいでいただいたりと五感を感じていただいている	
			(外部評価) 食事は、法人の厨房から昼食のおかずと夕食のメインのおかずが届き、事業所ではご飯と汁物を作っている。朝食と日曜日は事業所で手作りし、利用者の希望のメニューも取り入れており、現在は、麺類の希望が多いようだ。食材の買出しに、利用者と一緒に出かけることもある。職員も利用者とお食卓を囲み、同じ物を食べ、介助の必要な方には隣りに座って支援されていた。ミキサー食の方が2名あり、とろみ剤は無味で透明なものを使用し、1品ずつミキサーにかける等、工夫して支援されている。食後、食器拭きをしている利用者がみられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 健康チェック表で摂取量を確認し、個々に合わせてミキサー食にしたり、トロミやゼリー、補食なども用意し提供している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ご自分でされる方には言葉掛けや見守りをし、そうでない方には介助させていただいている。訪問歯科の口腔ケアを受けることもある。個人に合わせたブラシを使用している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 日中は、おおかたトイレで排泄していただいている。一人ひとりの状態を把握している	
			(外部評価) 日中はほとんどの方が、トイレで排泄できるよう支援しており、布パンツにパッド使用の方も多し。自分で行けるように、目印となるよう「便所」と貼紙しているトイレもある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 朝食にお粥を提供し、牛乳、ヨーグルト、食物繊維の多い食品を積極的に取り入れ、水分摂取も一人ひとりに合わせ、家事、体操、散歩などの軽い運動で自然排便に努めている。	
			(外部評価) その時の状況をふまえ、一人ひとりに合わせて支援している 夜間入浴も実施している	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) ほとんどの方は、週に3回程度、午後に入浴しており、夜間の入浴を希望する方が1名ある。リフト浴が設置されており、浴槽をまたぐことが難しい方が使用している。職員は、一緒に歌を歌ったり思い出話を聞いたりしながら、利用者がリラックスして入浴できるよう支援されている。お気に入りの職員となら入浴できる方があり、希望に沿って対応している。	
			(外部評価) 日中、日光浴や散歩、軽い運動を行い、夜間安眠できるように支援し、また居室内の温度や湿度にも気を付けている。日中も、一人ひとりに合わせた休息をしていただいている	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、日光浴や散歩、軽い運動を行い、夜間安眠できるように支援し、また居室内の温度や湿度にも気を付けている。日中も、一人ひとりに合わせた休息をしていただいている	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬に関しては、医師や看護師から説明を受け、法人看護師が事業所の利用者の処方箋をファイルして管理している。そのファイルに基づき職員全員が把握し、配薬、服薬のチェックも複数の職員で行っている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) これまでの趣味や特技をいかした、一人ひとりに合わせたケアプランの実践を通し日々楽しく過ごせるように支援している	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 花見、遠足、運動会等法人の行事には、ご家族の参加もある。ご家族の協力を得ながら、馴染みの美容室にも定期的に出かけたり、一人ひとりに合わせた支援をさせていただいている	
			(外部評価) 近所の公園までが、日々の散歩コースとなっている。法人合同で、季節毎にお花見や吉海バラ園、久万高原町、イチゴ狩り等に、ご家族にも案内して出かけている。管理者は「介護度が重度の方もあり、外出支援が難しくなっているが、工夫していきたい」と考えておられた。 職員は「もっと個別の外出も支援したい」「温泉にお連れしたり、外出時には普段よりも食事がすすむようなので、日常的に気軽にお弁当を持って出かける等の支援にも取り組みたい」と話しておられた。今後さらに、思い出の場所や馴染みの場所等、利用者個々の情報をもとにした支援にも工夫されてみてはどうだろうか。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) スーパーなどに買い物に行った時の支払いは、できるだけしていただいている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご自分でできる方は、いつでもしていただき、できない方の支援として、贈り物などを、お話ししながら目の前で開け、手紙を読ませていただき、お礼の電話をかけ、声を聞いていただいたり、手紙の代筆をさせていただいている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>心地よい音楽をかけ、季節の花や飾り物と、暖炉の温もりを感じ居心地良く過ごしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には、利用者と職員で買って来た季節の花が生けられていた。事業所は建物1階に位置し、居間は薪ストーブであたたかい造りになっている。南側のガラス戸から自然の光が差し込み、利用者は2つ並んだソファーに思い思いに座って、日だまりの中、おしゃべりを楽しんでいる様子がみられた。リクライニング車椅子を使用している方を、午前中は日向ぼっこができるよう、南側にお連れしていた。壁に利用者の書初めが飾っており、利用者が「昔、習ったことがありました」と教えてくださった。又、利用者が横書きに墨痕鮮やかに書いた、法人の目標「微笑を絶やさず親切に」が掲示されていた。調査訪問時、テレビは点けられることなく、BGMが静かに流れていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご自分専用の居場所があり、また好きなところで過ごせるように暖炉やソファーがある</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>基本的に居室作りは、ご家族にお願いしている。ご家族の写真や趣味の品を飾っている。また担当職員が、季節に応じた飾りなどを工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の名札は、利用者一人ひとりの目線の高さに合わせて掲示されていた。個々にテレビやたんす等を持ち込んでおり、カレンダーや思い出の写真、自作の書等を飾っている居室もあった。ベッドで過ごす時間の長い方は、ラジオを聞いておられた。各居室には、温湿度計があり、加湿器を用意しているところもあった。利用者の状態により、衝撃を和らげるために床にジョイントマットを敷いたり、ベッドにエアマットレスを使用している方もある。毎月25日の「掃除デー」には、ご家族が来られて掃除しており、当日来られなかった場合は、面会時に掃除をお願いしている。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>共有の場所を真ん中にし、両側にそれぞれの居室がある。場所の確認として、貼り紙をしている。居室には、それぞれ手作りの表札をつけている</p>	